

地域振興推進費自己評価書

令和5年5月23日

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C
横断的な課題	諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進)				
地域重点政策	諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進)				
実施機関	諏訪農業農村支援センター				
事業名	採卵現場におけるワカサギ採卵技術の実証実験	担当課	所属	農業振興係	
			電話	0266-57-2913(内線2364)	
			E-mail	suwa-nogyo@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	新しい採卵技術の早期確立と普及により、安定した採卵量(=漁獲量)を確保するとともに、諏訪湖産のワカサギを地域に供給し、関連産業の活性化につなげる。			
	現状と課題	近年、諏訪湖のワカサギの採卵量(産卵遡上する親魚を捕獲して採取)が不安定となり、25億粒程度の採卵量があったH26年以前と比べ大幅に減少している。(R2:3.2億粒、R3:0.4億粒、R4:3.3億粒)このため、地域の特産品として高い需要のある「諏訪湖産ワカサギ」の漁獲量回復に向けた新たな採卵技術の確立と採卵現場への普及が急務であり、県水産試験場が諏訪湖に適したワカサギを増加させる新たな採卵技術の開発に着手した。当該研究は、従来の遡上するワカサギから採卵するのではなく、水槽内で採卵を試みる技術であり、実験室での試行から現場普及へは一定期間を要すること、採卵機会は年1回のみであることから、ワカサギの採卵、放流に取り組む諏訪湖漁業協同組合と連携し、実際の採卵現場での実証(湖内のワカサギ親魚を捕獲して採卵)を試験研究と並行することで、同技術の早期確立とワカサギの漁獲量の復活を図りたい。			
概要内容	(変更後の内容)	【内容】 諏訪湖産ワカサギの資源量増加を目的に、諏訪湖漁協と連携して、ワカサギ水槽内自然産卵法(遡上前の親魚を定置網により採捕し水槽に收容することで自然産卵させる方法)の実証を行う。必要物品については、地域振興局で購入し、本事業から得られた成果を諏訪湖漁協の採卵技術として採用するとともに、水産試験場へもフィードバックして、より実用性の高い技術の早期確立と普及に寄与する。 【期待される効果】 産卵期の早いワカサギから採卵することにより、成長に必要な期間を十分にとることができるため、来期の採卵量増加につながる。また、諏訪湖内で採捕したワカサギを使用するため、産卵遡上しない年であっても採卵量を確保できる。 【購入物品】 (1)採卵用水槽 2基(角型FRP水槽 外寸 縦1160mm×横2560mm×高さ650mm 採卵用に加工済み)⇒1月20日納品 (2)孵化仔魚放流用資材 ・サクシオンホース 内径 38mm 50m×1本(12月23日納品) ・サクシオンホース 内径50.8mm 50m×1本(12月23日納品) ・水中ポンプ(吐出口径40mm,出力250w) 2基(1月23日納品) 【スケジュール】 ・12月～1月 必要物品の購入 ・1月23日 諏訪湖漁協へ貸出 ・2月20日～3月31日 上川等でワカサギ(親魚)の捕獲(定置網設置)、水槽の活用(ワカサギ採卵)			
		事業期間	令和4年11月		～
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	新技術導入に係る物品の購入	採卵用水槽の購入	880,000	@400,000×2+消費税	
	新技術導入に係る物品の購入	放流用ホースの購入	65,900	@27,500+38,400(税込み)	
	新技術導入に係る物品の購入	放流用水中ポンプ	83,600	@38,000×2+消費税	
	合計		1,029,500		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	実証実験実施回数(ワカサギ水槽内自然産卵法の実証実験)		3回(3月各週1回以上実施)	1回	○ 達成
	ワカサギ採卵数(R3実績:3.3億粒)		増加	減少	○ 一部達成
					● 未達成
事業実績・成果	ワカサギ採卵用水槽2基と水中ポンプ、サクシオンホースを購入し、諏訪湖漁協の敷地内に設置した。3月中旬から定置網を設置して親魚の採捕を試みているが、今年度はワカサギの成長が遅く、採卵を行えるほどまとまった量が確保できていない状況である。当初の計画では上川に遡上する親魚を捕獲し、採卵を行い平年並みの卵の確保を想定していたが、成熟した親魚の確保が出来ず、水槽を活用した自然産卵法の実証試験が1回のみとなったが、投網調査データにより今年は例年より早い2月に産卵が確認されたという情報や、4月以降にかけて少しずつ成熟が進んでいるという情報を得たため、次年度以降は実施時期を分散させ、2月から採卵のピークと思われる4月末まで採卵を継続して行う。(産卵は水温が15℃以下である必要があるため。)				
今後	ワカサギの成熟を見ながら採卵を継続する。				